

「祖母傾ユネスコエコパーク」 登録に関する取組について

市長記者発表資料(H28.7. 4)

世界自然遺産との違い

環境省HPより
(<http://www.env.go.jp/nature/isan/worldheritage/index.html>)

◆世界自然遺産(事務局:ユネスコ文化局)

- ・登録数:197件(国内4件)
- ・目的:世界で唯一の価値をもつ貴重な自然を、人類全体の遺産として**保護・保全**すること。



◆ユネスコエコパーク(事務局:ユネスコ自然科学局)

- ・登録数:120カ国651件(国内7件)
- ・目的:生態系の**保全**と持続可能な**利活用の調和**
(生物多様性の保全・自然と人間社会の共生)



自然環境を守りつつ、**かつ**、自然や文化を活かし発展している地域を「自然と人間社会の共生」のモデルとする、という制度

◆世界農業遺産(実施機関:国連食糧農業機関FAO)

- ・社会や環境に適応しながら形成された**農業上の土地利用、伝統的な農業**、またそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性に富んだ世界的に重要な地域を次世代へ継承することを目的に、2002(H14)年に開始。(H28.1現在、国東半島宇佐地域など国内8地域)

◆ジオパーク

- ・「ジオパーク」とは、地球(ジオ)に関わる**自然遺産(地層、岩石、火山など)**を含む自然豊かな「公園」のこと。
- ・ジオパークを名乗るには、日本ジオパーク委員会の審査に合格することが必要。(おおいた豊後大野ジオパーク、おおいた姫島ジオパークなど31地域)
- ・さらに世界ジオパークネットワークの審査に合格すれば、世界ジオパーク(global geopark)となる。(阿蘇、島原半島など8地域。世界で120地域)

国内のユネスコエコパーク(7カ所)

※全体では120カ国651件

1980(S55) 志賀高原
白山
大台ヶ原・大峯山
屋久島

2012(H24) 綾

2014(H26) 只見
南アルプス
志賀高原(拡張登録)



これまでの取組と今後のスケジュール

5

H26年 2月 大分県で推進協議会 発足

12月 宮崎県で推進協議会 発足

H27年 2月 大分・宮崎推進協議会 発足

8月 日本ユネスコ国内委員会あて、申請書概要を提出



H28年 2月 申請書と文 提出

秋 国内推薦地域の決定→ユネスコへ申請



H29年 夏 ユネスコMAB計画国際調整理事会が登録地を決定



ユネスコエコパークとしての活動予定①

〔生態系や生物多様性の保全〕
〔学術調査研究活動〕



〔持続可能な利活用〕

- ・地域資源を活かした共通ブランドの形成
- ・自然環境を活かした広域観光ルートの形成
- ・一体的な情報発信



祖母傾ユネスコエコパーク大分・宮崎推進協議会公式HP

ユネスコエコパークとしての活動予定③

〔人材育成〕

・次世代の育成、担い手の確保



**豊後大野市は
移住・定住を
応援します!**

大野川の豊かな水に恵まれた県内屈指の畑作地帯。大自然に恵まれた環境で生活してみませんか?

佐伯市UJIターン支援サイト

**空き家バンク
UJI ターン情報**

佐伯市は、公式ホームページを通して、佐伯市の魅力や空き家等の情報を発信するとともに空き家への見学案内を行います。
多様な情報を発信し、市内外の皆さまに注目してもらうことにより、佐伯への定住・定住人口の拡大を促し、地域の活性化のきっかけにしたいと考えています。

UJIターンとは?

U: 空き家を有効活用する
J: 空き家を有効活用する
I: 空き家を有効活用する

佐伯市の定住支援制度

◆市外にお住まいの方へ◆ ～自然あふれる大分県佐伯市で暮らしてみませんか?～

定住を目的とした住宅の取得費用を助成します!
《佐伯市持家取得助成金制度》

定住を促進し、人口の増加による活気に満ちあふれた地域社会を築くため、市外から市内に定住する目的で住宅の取得をされた方に『持家取得助成金』を支付します。

農村回帰

竹田市 移住・定住支援サイト 豊後国とは。 0974-63-4801

TOP 竹田で暮らす 空き家バンク 竹田で働く 竹田のひと お問い合わせ

空き家バンク

2015年12月24日 5件の空き家物件を登録しました!

2015年12月04日 「熊毛郡地域おこし協力隊」募集開始について

2015年12月01日 竹田市「地域おこし協力隊」の募集について

2015年11月05日 佐伯市「豊後大野市定住支援」員久保ハジメさん登壇

2015年10月22日 たけはた竹田・武蔵(移住相談会)in東京

**14年度の県内農林水産業
就業最多371人**

県内の農林水産業新規就業者は、14年度は前年度に比べて約1割増の371人となりました。これは、県内では過去最高の水準です。県内では、農林水産業への就業が、若年層を中心に増加傾向にあります。これは、県内では過去最高の水準です。県内では、農林水産業への就業が、若年層を中心に増加傾向にあります。

手厚い支援、企業参入…若い世代7割

県内では、農林水産業への就業が、若年層を中心に増加傾向にあります。これは、県内では過去最高の水準です。県内では、農林水産業への就業が、若年層を中心に増加傾向にあります。

佐伯地域ユネスコエコパーク推進協議会 委員名簿

番号	所属	氏名	役職
1	大分県商工会連合会 会長 (大分県推進協議会 委員)	森竹治一	副会長
2	NPO法人宇目まちづくり協議会理事長 (大分県推進協議会 委員)	甲斐孝義	会長
3	佐伯市自治委員会宇目支部会長	河野忠幸	監事
4	佐伯市宇目地域振興審議会 会長	佐賀良育広	
5	佐伯市立宇目緑豊中学校 校長	古谷俊之	
6	佐伯市立宇目緑豊小学校 校長	伊東俊昭	
7	大分森林管理署 地域林政調整官	中嶋紀光	
8	佐伯広域森林組合代表理事組合長	戸高壽生	副会長
9	大分県農業協同組合経営管理委員会 委員	矢野一郎	
10	大分県農業協同組合 宇目支店長	佐保和広	監事
11	佐伯市観光協会宇目支部 支部長	多田正信	
12	宇目町漁業協同組合 組合長	森崎高吉	
13	大分県林業研究グループ 会長	武田邦弘	
14	宇目文化協会 会長	矢野良子	
15	大分県山岳救助隊 佐伯分隊長	後藤弘喜	
16	エコパーキングガイド協議会 会長	柳井百人	
17	道の駅宇目 駅長	田村 亮	
18	さいき農林公社 事務局長(宇目農林産物直売所指定管理者)	河野幸喜	
19	うめキャンプ村 指定管理者 代表	小園健一	
20	佐伯市宇目商業団地出店組合 組合長	甲斐孝義(兼任)	
21	佐伯市宇目振興局 局長	今山勝博	

オブザーバー名簿

1	日本文理大学 教授(大分県推進協議会 会長)	杉浦嘉雄	オブザーバー
2	大分県植物研究会会長(大分県推進協議会 委員)	真柴茂彦	オブザーバー

平成28年度事業計画

月 日	事 業 内 容	
平成28年6月15日	佐伯地域ユネスコエコパーク推進協議会設立総会(第1回)	
平成28年6月17日	第1回次世代育成事業 (地元子ども達が傾山や藤河内溪谷の自然環境の素晴らしさを体験し、ユネスコエコパークについて学習するプログラムを実施) 宇目緑豊小学校4年生(22名)を対象とした藤河内溪谷での生物調査(植物・鳥類)	
平成28年7月16日～17日	第2回次世代育成事業 宇目緑豊中学校全校生徒(53名)を対象とした藤河内溪谷での1泊2日の自然体感キャンプで、コーディネーターとして世界的アルピニストで宇目出身の戸高雅史さんに依頼	
平成28年7月17日	第1回エコパーク普及啓発事業 エコパーク普及推進講演会 「エコパークの魅力に五感でふれる自然体験の可能性」 講師・・・戸高雅史先生 会場・・・宇目ふれあいセンター 時間・・・18時30分～	
平成28年7月 日付未定	第1回エコパーク普及啓発事業 協議会委員等エコパーク先進地視察 視察先・・・宮崎県綾町(平成24年7月エコパーク登録) 目的・・・自然と共生する町・綾町から持続可能なまちづくりを学ぶ	
平成28年9月 日付未定	第3回次世代育成事業 宇目緑豊小学校5年生(23名)を対象とした生物調査(水生生物)	
平成28年9月 日付未定	第2回佐伯地域ユネスコエコパーク推進協議会(中間事業報告)	
平成28年11月26日	6市町合同シンポジウム参加 主催 大分・宮崎県推進協議会 場所 豊後大野市	
平成29年2月 日付未定	第3回佐伯地域ユネスコエコパーク推進協議会(事業実施状況報告)	
関連事業	大分県	エコパーク「自然・人・文化」を活かした体験型観光コースの情報発信を目的にした、「メディア関係者招聘ツアー」 7月11日～13日(東京・福岡からの関係者)
	両県推進協議会	エコパークフォトコンテスト 募集期間7月～10月 11月シンポジウムにて表彰
	佐伯市	PR用傾山動画作成
		普及啓発用 パンフレット作成(小中学生対象)
	ガイド協議会	エコパークの最前線基地として藤河内温泉施設「湯ーとぴあ」リニューアル 体感ツアーコース策定 観光協会とタイアップしたツアーの実施(夏・秋・冬) ガイド養成の取組み 食の開発事業として 藤河内弁当(仮称)の考案・試作